

体験事業ドキュメント（総集編）

6月17日（土）～7月2日（日）
第1回・第2回事前研修



マレーシアの基礎知識やマレー語の勉強をしました。最初は自己紹介だけでも覚えるのに苦労しましたが、今では大好きな言語になりました。
前野優夏



マレー語ってどんなのなんだろうと疑問ばかりでした。習っていくうちに、「スラマツ」がつく言葉がとても多いことに驚きました！

桑原さくら



7月23日(日)
結団式・出発



早期の結団式。

「帰国した時の私たちの姿を楽しみにしててください。」と決意表明をしました。

7月24日(月)
午前：JICA マレーシア事務所 訪問



JICA 事務所を訪問。
ビルの29階にあり、びっくりしました。
徳永理咲



7月24日(月)
午後：入村式・ホストファミリーとの対面



ホストファミリーとの対面式ではとても緊張しましたが、素敵な笑顔で受け入れてくれました。

村上由佳



7月25日(火)

午前：青年海外協力隊活動現場視察（田ノ畑祥一隊員 障害児・者支援）

施設名：Sekolah Kebangsaan Datin Khadijah



ここでも盛大な歓迎会がありました。また、鹿児島出身の JICA 隊員である田ノ畑さんから、「行動する」大切さを学びました。



午後：現地中学校との交流

施設名：Sekolah Menengah Kebangsaan Sultan Azlan Shah



お互いの文化交流を通して、異文化理解に繋がれたと思います。

大迫佳乃



熱烈な歓迎と、好奇心に満ちたキラキラした目に、熱いエネルギーを感じました。

城山千晴



7月26日(水)

午前：青年海外協力隊活動現場視察（谷口亮隊員 青少年活動）

施設名：Pertubuhan Pemulihan Dalam Komuniti Merbok



谷口隊員の「言葉が通じなくても、困ったときには、あなたを助けてくれる人がきつといる」という言葉がとても印象に残りました。

朝田真央



夕方：ホストファミリーと過ごす時間



ホームステイ先の男の子がとても元気でパワーをたくさんもらいました。

奥田優希



家族みんなでリビングに集まって、日本とマレーシアのお土産をひろげながら、たくさん話しました。日本の大晦日のようでした。

園田春陽

7月27日(木)

終日：ホストファミリーと過ごす1日



1日目は緊張しましたが、この日はたくさん会話ができました。私を受入れてくれたホストファミリーに感謝の気持ちでいっぱいです。

大渡彩也華

一番古いモスクを見に行ったり、みんなでご飯を食べに行ったりと、色んなことをして過ごしました。たくさんお話し、絆が深まる時間となりました。ほんとにいい一日でした。

久保田紗那



はじめは、あまり会話ができませんでした。が、伝統衣装を着せてもらってから、一気に心の距離が縮まり、コミュニケーションが取れるようになりました。

坂之上琉生

7月27日(木)
夜：村とのお別れ会



それぞれ料理を取って楽しみました。最後には村中の人が集まり、とても賑やかなお別れ会になりました。

加世田美雪

7月28日(金)
午前：村とのお別れ



離れたくなかったですが、再会を約束してお別れしました。ホストファミリーと過ごした時間は私の宝物です。

森田遥香



バスが見えなくなるまで手を振ってくれました。会えなくなる寂しさで涙があふれてきました。

井上心結



7月28日(金)～29日(土)
クアラルンプール視察



ツインタワーなど、高いビルがたくさんあり、東京よりも都会なのではないかと感じるほどでした。

園田春陽



ピンク色の「プトラモスク」は、とても美しかったです。一度に1万5000人がお祈りをする事ができるほど、とても大きなモスクでした。皆さんもぜひ訪れてみてください。

森田遥香



7月29日(土)
午後：マレーシア 出国



出発する実感が湧きませんでした。マレーシアの人の温かさに触れて、空港では逆ホームシックになってしまいました。

城山千晴

7月30日(日)
帰国・解団式



事業に携わって頂いたすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからの人生へと繋げていきたいと思います。

徳永理咲



8月1日(火)～8月24日
表敬訪問



8月19日(土)
報告会



この研修を無事に楽しく
終わることができたのは、
優しくてノリがいい、最高の
団員メンバーに巡り合えた
からだと思います。

本当にありがとうございました！

坂之上琉生

